

# 歴史遺産の古道と ふるさとの魅力再発見

## 出雲街道に関する活動報告

岡山県真庭市 出雲街道 勝山宿の会

出雲街道 勝山宿の会代表 石川日出夫



「出雲街道（姫路く松江）」は古来より、出雲と大和朝廷を結んだ、重要路線として開設され、街道の整備を待って、和銅6年（713年）に備前国から分離し、美作国が誕生したと伝わっています。以来1300年の歳月を経ています。

時代と共に道筋は変遷を重ねていますが、近年は開発によるほか、道の消失もあって忘れられた存在になりつつあり、存続が危惧されており、後世に残し伝える必要があります。

### 地図の作成と会の設立

平成22年2月頃、仲間内で「出雲街道」が話題となり、出版物はあるが、一般に出

回っている地図がないことが判明し、有志（3名）で地図作りに挑戦しました。

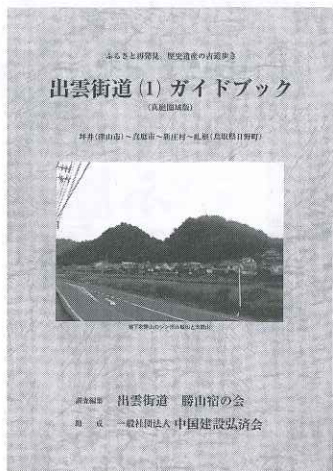
真庭市を中心として、4月中旬より調査を始め、津山市・坪井より鳥取県日野町・札根までの約57キロメートルを歩いて調べ、地図を完成し、6月に新聞へ発表しました。

続いて第2弾として、9月より兵庫県境（万能札）より津山市・坪井までを調査し、12月に「出雲街道地図（2）」として発表しました。

地図作成の過程から、消失した道があり、保存して後世に伝えるため、活動する必要があると思ひ、友人知人（25名 現在22名）を集合して「出雲街道 勝山宿の会」を平成23年3月に設立しました。

### 道しるべ石の建立

設立以来、県、市役所に出向き、会の趣旨を説明し、陳情して回りましたが、なかなか色良い回答は得られず、空回りをしていましたが、平成24年度に申請した「福武教育文化振興財団」より助成（20万円）を受け、寄付金（40万6千円）を得て、「平成の道しるべ石」15基を旧勝山町地内に建立した。引き続き25年度は「福武財団」より、助成（25万円）と寄付金（3万円）で、同じく5基を建立する。平成28年には、「中国建設弘済会」より助成（25万円）と寄付金（11万8千円）で、旧勝山町の東西2カ所へ「勝山宿」の石碑を建立して、旧勝山地区の道しるべは完成した。



出雲街道(1)ガイドブック刊行

## 「出雲街道(1)ガイドブック」の刊行

最初の地図を改訂したので、この機会に会の集大成として「ガイドブック」の刊行を思い立ち、「中国建設弘済会」よりの助成(30万円)を受け、企業団体31の諸社団より協賛金(31万円)で、国土地理院の許可を受け、発刊し、公共団体、図書館、学



新旧の道しるべ石。古いのは元禄時代、並んで平成の道しるべ



「勝山宿」の標識石を建立する

## 街道マンホール蓋の敷設

校等へ寄付し、残部は希望者へ頒布している。

本郷地内の下水道が、平成26年度より3年計画にて施工

(約1.5キロメートル)され、敷設されるマンホール蓋に「出雲街道」の銘を入れることを市役所に提案し実現する。

## 街道歩こう会の開催

歩こう会の開催は、歩くことにより運動と健康に寄与し、歴史文化に接し、景色風景(沿線には名勝地あり)を愛で、観光振興にも繋がり、町村おこしと地域の活性化を促す等、あらゆる面に良好な影響を及ぼす企画となっている。

### 【出雲街道を歩こう会】

平成23年より、岡山県及び真庭市役所へ「出雲街道」を歩こう会の提案をしておりましたが、色良い回答はありませんでした。

平成25年度が「美作国建国1300年」に当たることが発表されたのを知り、24年



第7回出雲街道を歩こう会  
鳥取県境より難関の四十曲峠を越えて一息

4月に「記念実行委員会」へ出向き「出雲街道」をPRし、歩こう会の実施を提案しました。程なく提案は採択され、真庭市と共に、24年11月にプレイベントとして、第1回「出雲街道を歩こう会」を、実行委員会と共同で開催しました。

翌25年は、メインイベントとして、第2回、第3回の「出雲街道を歩こう会」を開催、平成27年からは、当会単独主催で真庭市後援となり、第4回、第5回、第6回を実施。平成28年10月は第7回(最終回)となり、新庄村の後援を得て「出雲街道を歩こう会」は全線踏破し、無事終了しました。また、当会では開催に先立ち、草刈り(1区4区5区6区)道補修(4区5区)を実施しています。

### 【大山みちを歩こう会】

美作国建国1300年記念行事が終

